

# 桜のある水辺風景 2012

## 応募写真集



## 目 次

はじめに .....	1
企画趣旨 .....	1
応募作品 .....	2
おわりに .....	15

## はじめに

今年も多くの方々から「桜のある水辺風景 2012」に応募いただき、たいへんありがとうございました。今年の春はあまり天候に恵まれませんでしたでしたが、昨年と同様、たくさんの写真が集まりました。

写真を見ながら添えられた文章を読んでいくと、桜や川を眺めながらシャッターチャンスをねらっている投稿者の姿が浮かんできます。また、添えられた文が写真をひきたてて、写真集全体が1つの物語になっているようです。

掲載されている自分の写した写真も眺めながら、来年はもう少し工夫して少しでもできのよい写真を投稿できたらと反省しているこのごろです。

本企画を含めて JRRN に対して、引き続き皆様のご協力やご意見をよろしくお願いいたします。

佐合 純造

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局長

## 企画趣旨

水辺の美しさや人々との関わりについて考える機会とするべく、2010年よりJRRN会員皆様より「桜のある水辺写真」を募集しご紹介させて頂いております。

2012年は17名の皆様より、2012年に撮影された「桜のある水辺写真」をご応募いただきました。本冊子では、ご応募頂きました皆様のお写真を、頂きましたコメントと共にご紹介させて頂きます。

### 2012年募集要項

- テーマ： 「桜のある水辺風景 2012」 ※2012年に撮影された写真限定
- 応募資格： JRRN 会員
- 作品規定：
  - ・応募はお一人何点でも可能です。ただし応募作品は自ら撮影したものに限りま
  - ・写真サイズはハガキサイズ程度の印刷でも鮮明なレベルとします。
  - ・個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。
- 応募期間： 平成24年3月1日（木）～平成24年5月31日（木）

## 応募作品

### ソメイヨシノと八重桜

福岡堰から取水した用水路に咲く桜です。4月末の今日、4月初旬に咲いていたソメイヨシノはもうすっかり葉桜。しかし対岸には1か月遅れの八重桜。同じ場所で二度桜が楽しめます。

  
撮影◎坂本 貴啓 4月  
茨城県つくばみらい市  
小貝川福岡堰取水口付近



### 本庄市小山川「千本桜」

埼玉県本庄市児玉地先を流れる小山川には、関東桜10選に入る「千本桜」がある。延長約4kmの両岸には桜が咲き誇っていた。桜の木の本数は1100本だという。休日には「さくら祭り」が開催され、多くの人々がやってくるそうだ。

この桜は多分、大規模な河川改修の際に植樹したものであろう。現場で、河川改修の記念碑を探したが近辺では見当たらなかった。地元では、小山川を「身馴川」と呼ぶそうである。

撮影◎森山 英一 4月 埼玉県本庄市児玉 小山川

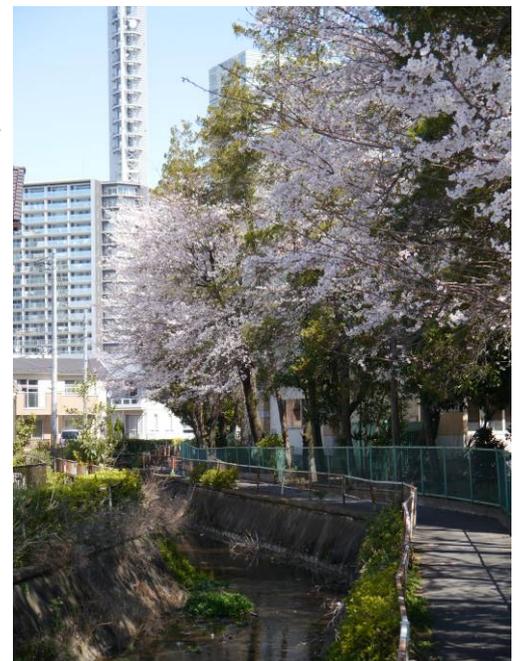


### 青春の門につづく、いつものみち

あまり知られていないけれど旧与野市（現さいたま市中央区）には、江戸時代「享保の改革」で井沢弥惣兵衛為永が築いた「高沼用水」というのがあり、今は環境用水として水が流れています。この写真は用水に隣接する中学校の正門前の桜です。

桜って不思議ですね。中学校の桜なのに花が咲くとそのまちに暮らす人々の共有の財産のような気になります。ここの中学生にとって桜と水の流れの美しくてはかない春の風景は、きっと将来心のふるさと像になるのだろうとうらやましく思いました。

撮影◎稲葉 修一 4月 埼玉県さいたま市 高沼導水路



## 校庭の下を流れる川が顔を出すと桜が見える！

去年はさいたま市立与野東中学校のわきから、高沼用水路(導水路)沿いの桜を撮影しましたが、今年は少しだけ上流に撮影場所を移動してみました。この川は、下落合小学校のグラウンドの下を流れています。この川が顔を出したところは、与野東中学校の校門前。上流を見渡すと下落合小学校の校庭の桜の木々が見渡せます。

撮影◎上原 励 4月 埼玉県さいたま市 高沼導水路



## 水辺の桜並木を散策する家族

上尾市を流れる鴨川の「富士見親水公園」は、桜の名所として地域に親しまれています。この場所は、一昨年に埼玉県の水辺再生 100 プランの事業により、憩いや安らぎを感じ、自然とふれあえる河川環境の創出を目指して再整備されました。いまでは、散策や休息に訪れる人が多くみられ、桜の季節は花見を楽しんでいます。



撮影◎高橋 達也 4月 埼玉県上尾市 鴨川

## 志木市 新河岸川の桜堤

埼玉県志木市役所の目の前を流れる新河岸川の河畔は、桜の名所として広く知られており、お花見の季節には多くの人で賑わいます。この場所は、埼玉県の水辺再生 100 プラン事業によって、憩いや安らぎの場、親水施設の整備が図られ、桜並木と合わせて、志木市の新しい名所となることが期待されています。



撮影◎高橋 達也 4月 埼玉県志木市 新河岸川

## 柳瀬川の桜並木

手前の高水敷はわずか一組のピクニック客である一方、桜並木のある対岸は満員御礼。

桜と水辺のコントラストが美しいのに…。



撮影◎伊藤 将文 4月 埼玉県富士見市 柳瀬川

## 黒目川の春祭り

毎年恒例、黒目川の花祭りです。

日頃より堤防天端の散策路が多い一方で水辺は小学生や釣り人の独壇場のこの川も、この日ばかりは水辺にも多くの市民の姿がみられた。

人が安心して近づける水辺あってこそその風景。水辺からの桜の景色もまた格別である。

曇天の空模様を除いては…。

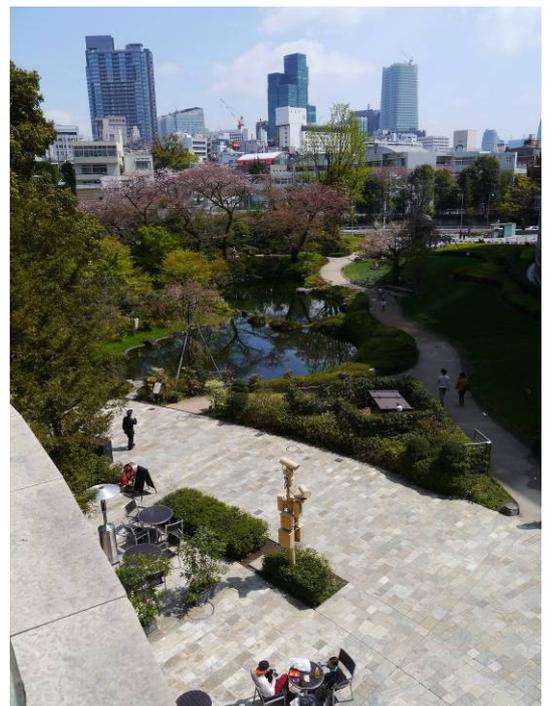


撮影◎伊藤 将文 4月 埼玉県朝霞市 黒目川

## 水のある風景の継承 六本木ヒルズの毛利庭園

東京の都市と賑わいの風景を代表する六本木ヒルズ。江戸時代には毛利家の屋敷がおかれ池のある広大な庭園がありました。現在、六本木ヒルズにはかつての池の名残である「毛利庭園（かつての庭園の池は地下埋設されています）」があり池の周りには桜が咲き誇ります。

桜散らしの雨の翌日、六本木ヒルズを訪れました。水辺のオープンカフェからみる散り際の桜には、都市の賑わい文化のなかに水や山気の気配を感じることができました。日本ならではの水辺が今も継承され、いきいきとした風景を見せています。

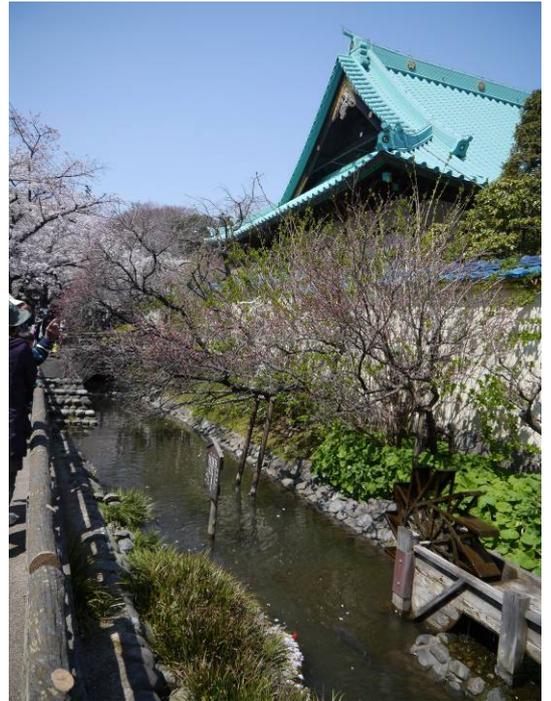


撮影◎稲葉 修一 4月 東京都港区 六本木ヒルズ

### 昔の面影を残す六郷用水と桜並木

江戸時代から昭和初期まで灌漑用水として利用されてきた六郷用水。今はその大半が埋められてしまったけれど、湧水の湧く田園調布本町には当時の水路の面影が残り、用水沿いの桜並木が目を楽しませてくれます。

写真のお寺（東光院）の右側の坂をのぼれば福山雅治さんの歌った「桜坂」が見えてきます。

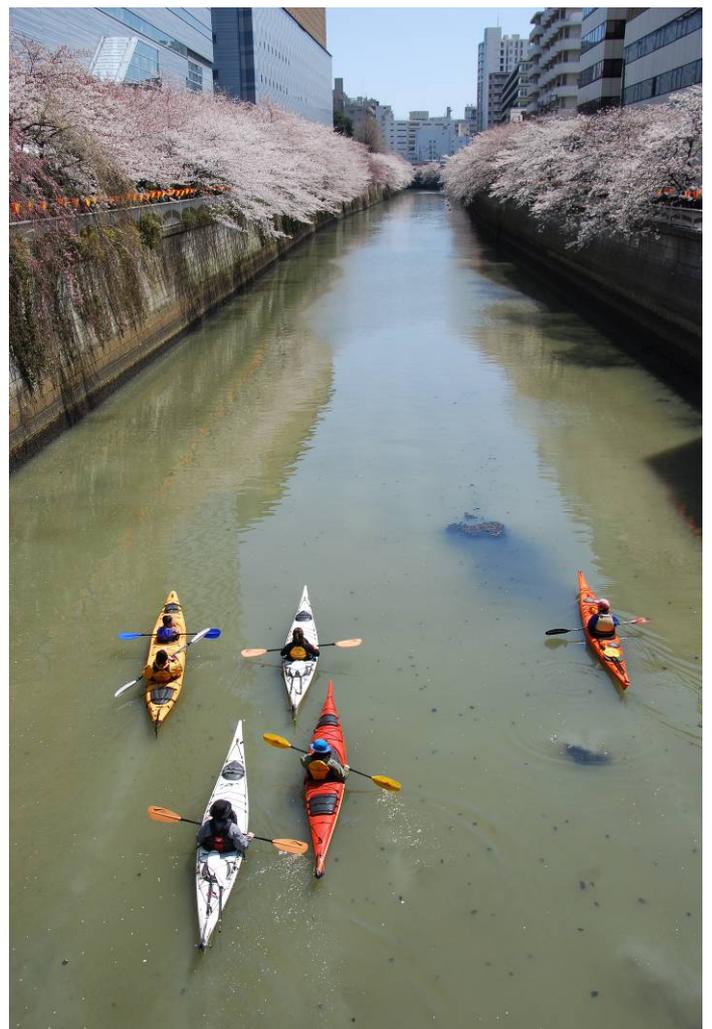


撮影◎稲葉 修一 4月 東京都大田区 六郷用水



### 花見客から大注目

前日までの雨の影響で川の水質は最悪。そんな中でも川と触れ合い楽しむ素敵な人たちを発見しました。



撮影◎和田 彰 4月 東京都目黒区 目黒川



## ピンクの川

今年もピンク色に染まった目黒川を見ることができました。このあと、桜の花弁は川に沈んでいくのか、それとも東京湾へと流れ出ていくのか？

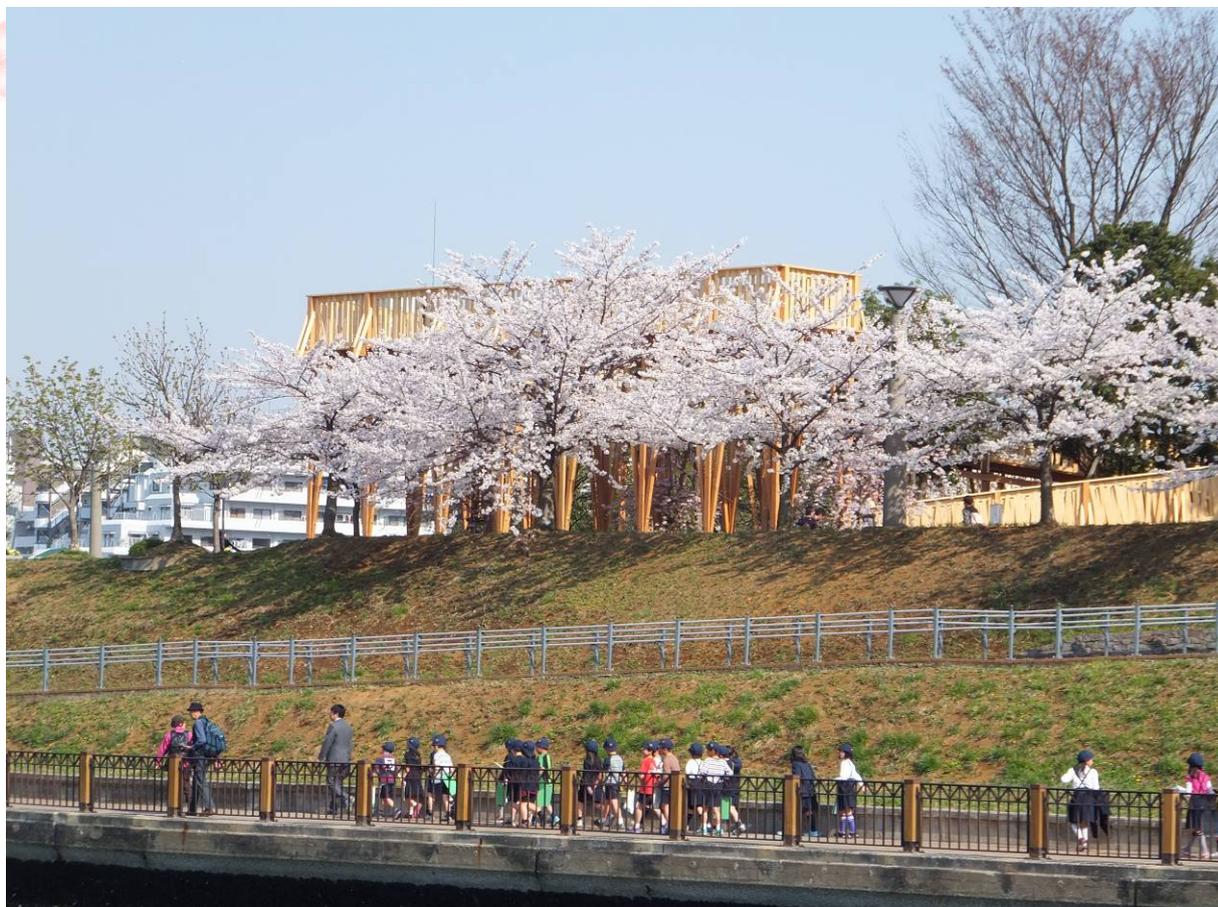
来年は花びらの行方を追跡してみたいと思います。

撮影◎和田 彰 4月  
東京都目黒区 目黒川



## 大川端のアートと桜

隅田川・大川端に、「東京アートポイント計画」の一環として整備された「佃アートテラス」の前を元気に子ども達が散歩。水上バスからの一枚。



撮影◎奥田 好一 4月 東京都中央区 隅田川

## 夕暮れの隅田公園

黄昏転覚薄寒加 載酒又過江上家  
十里珠簾二分局 一湾春水満堤花

永井荷風による漢詩「墨上春遊」。

黄昏時、薄ら寒くなるなか、酒とともに隅田川沿いの我が家へ帰る際の水辺の風景をうたったもの。堤沿いの青楼(スカイツリー)、空の満月(満月ではなかったが・・・)、入り江に満ちる春の水、そして桜。時代を超えた風景が黄昏時によりみがえったかのよう。



撮影◎奥田 好一 4月  
東京都台東区 隅田川

## 隅田川沿いの桜

隅田川を勝どき橋から永代橋まで、上流に向けて散策したときに取りました。当日は天気あまりよく曇りがちでしたが、丁度満開の時期であり、また、川沿いで観賞するには気持ちがいいところなので、多くの方が桜を楽しんでいました。来年の開花も楽しみです。



撮影◎瀧田 陽平 4月 東京都中央区 隅田川

## 神田川 夜明け前

撮影時間は午前4時30分。人気のない神田川で桜を独り占めです。



撮影◎伊藤 将文 4月 東京都文京区 神田川

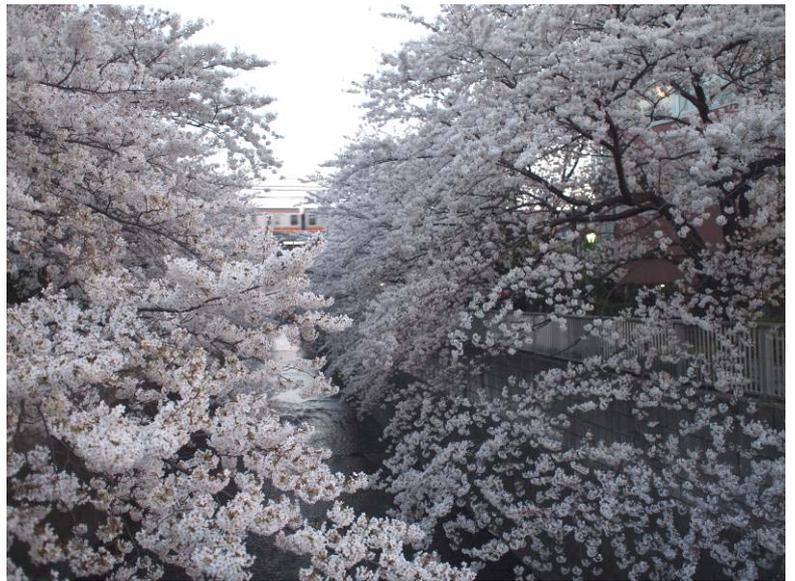


## 窓の下には神田川

中央線が神田川を横断する際に満開の桜が一瞬だけ目に映ります。夕暮れ時の川面の桜はとくに美しいです。神田川を日中に見ればコンクリート三面張りで風情などは感じられませんが、暗闇に桜の花びらが浮かび上がる風景は、日本ならではの美しさといえます。

「咲みちて花より外の色もなし」(足利義政)

なお、題名の「窓の下には神田川」は、あの名曲「神田川」の歌詞からとりました。



撮影◎岡村 幸二 4月 東京都中野区 神田川

## ことしも咲きました

今年は天候が不順で桜も苦労したと思います。私も花見のタイミングを失って、休日の近所での桜鑑賞のみでした。



撮影◎佐合 純造 4月 東京中野区 神田川

### 夕暮れの運河沿いの桜

江戸の情緒を残す門前仲町の大横川の桜並木です。日曜日の夕方に通りかかり撮影しました。夕暮れ時に桜並木の下を散策する家族連れなどが見られました。いつも訪れる町にこんな所があったのかと再発見です。

撮影◎中村 健 4月  
東京都江東区 大横川



### 固い川にも桜の癒し

自由気ままに伸びる桜とガチガチに固められた川がコントラストをなしています。いつかの川が、もっと柔らかくなりますように。

撮影◎和田 彰 4月  
東京都杉並区 善福寺川



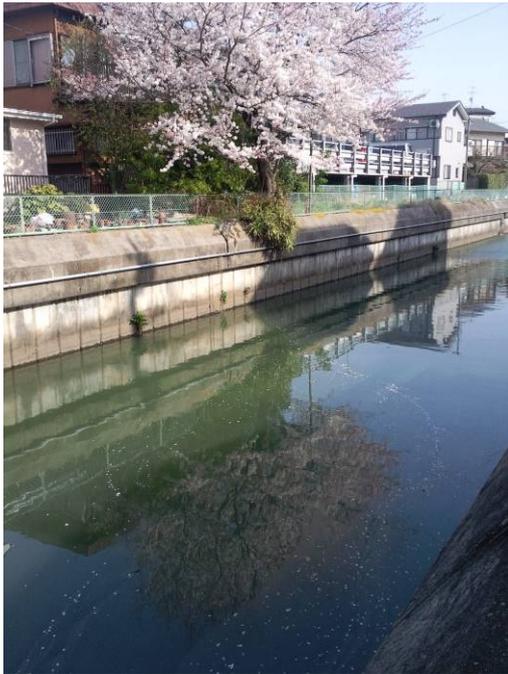
### 春 麗の石神井川

都市河川では珍しい親水空間。3年前(平成21年)にこの地域の河川大改修が行われた。両岸の遊歩道等はそのままで、河床を掘り下げて、且つ川の流れを蛇行させ川原を復活させた。桜が咲き、水が温んできた石神井川。陽だまり散歩をする人、桜を愛でる人、川の中を歩く人……。春爛漫です。



撮影◎佐藤 英雄（川と水辺を楽しむプロジェクト代表） 4月 東京都練馬区 石神井川

## 松戸市六間川付近の桜



松戸市古ヶ崎五差路に面している1列の桜が、車に乗って、信号待ちの時、ちょうどいい視野です。

撮影◎黄 星璇 4月 千葉県松戸市 六間川付近

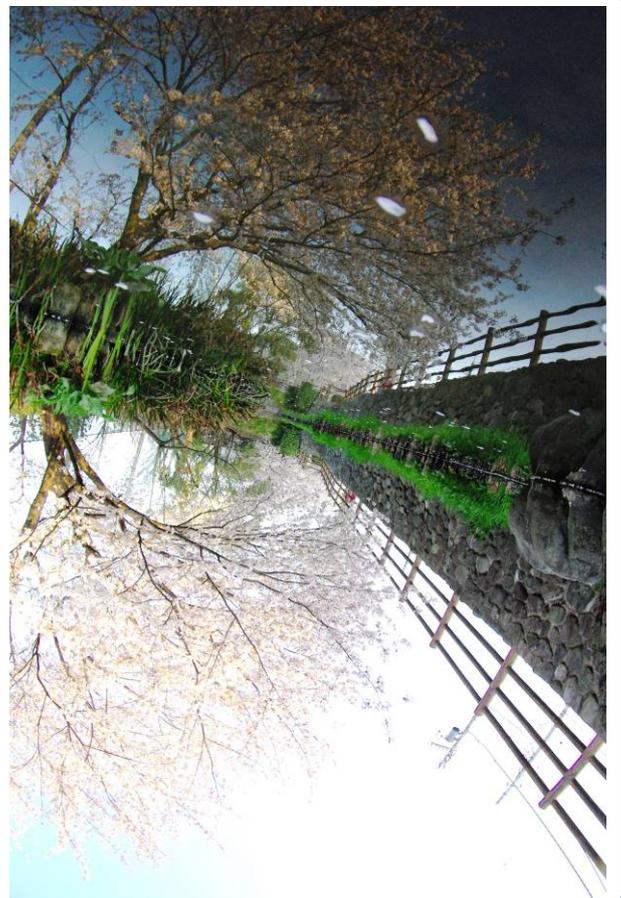
## 映り桜

ずっと前から咲いていた桜です。

親水護岸化され人に優しい水辺になりました。

下水処理場の進歩により水質はとても良くなったのに、護岸工事後は生き物が激減しました。

人に優しい護岸は生き物にやさしくありませんでした。



撮影◎山崎 充哲(おさかなポストの会) 4月  
神奈川県川崎市 新川

## 水辺に垂れ下がる美しい桜並木

横浜市南区の中心部を流れる大岡川下流部は典型的な都市河川で、「大岡川プロムナード」が整備されるなど散策に適しています。毎年「大岡川さくら祭り」が開かれ、縁日が並ぶなど花見客で賑わいます。川沿い 3.5 kmにわたり咲き誇る大岡川の桜並木の特徴は、水面に垂れ下がるソメイヨシノの美しさではないかと思えます。



撮影◎高橋 達也 4月 神奈川県横浜市 大岡川

## ひとあし早い南伊豆の春



東京ではまだ桜が咲いていなかった4月の初め、ふるさとの伊豆では桜がすでに満開でした。溪流沿いの桜の花を揺らす風は暖かで、ひとあし早い春を感じて来ました。

撮影◎稲葉 修一 4月 静岡県松崎町 那賀川

### 伊豆半島松崎町那賀川堤の桜並木

伊豆南部のなだらかな、山間を流れる那賀川に沿った桜並木。自然さをとどめた川と桜、また川面に映る桜並木が印象的でした。



撮影◎加藤 晴敏 4月 静岡県賀茂郡松崎町 那賀川

### 信州松本の春

梓川の堤防道路の桜並木です。雪どけ水で豊富な水量の梓川の向こうには、松本盆地を見下ろす北アルプス。残雪の常念岳がひときわ目に映えます。



撮影◎上原 励 4月 長野県松本市 梓川



### 桜に彩られた堀川

名古屋市の中心市街地を流れる堀川。堀川は徳川家康が名古屋城を築く時に開削した人工の河川です。

今年の桜は、昨年よりも1週間ほど遅れて満開になりました。一斉に咲き競うように花を開いた桜は、昨年よりもきれいでした。



撮影◎滝 宏志 4月 愛知県名古屋市 堀川



## 水面に映る桜と白帝城

木曾川のほとりの小高い山の上に建てられた国宝犬山城(通称:白帝城)。

濃尾平野の要(かなめ)とも言える場所に位置しています。この写真は濃尾平野の田畑を潤す農業用水を取水する犬山頭首工から撮影しました。

水面に映る新緑と桜に彩られた犬山城がとてもきれいでした。

撮影◎滝 宏志 4月  
愛知県犬山市 木曾川



## 桜薫る笠松湊

笠松湊(かさまつみなと)は明治時代まで木曾川の水運の拠点として栄えていました。その面影は港までの道に敷き詰めた石畳に残されており、公園として整備されました。

階段護岸に腰をおろして満開の桜を楽しんでいると、木曾川の心地良い川風が花の香りを運んでくれました。

撮影◎滝 宏志 4月 岐阜県笠松町 木曾川



## 筑後平野の春

春の筑後川めぐりに出かけた時に撮影した一枚。大石堰から取水した水が用水路を勢いよく流れています。周囲には桜と菜の花が咲き、筑後平野の春を彩ります。

撮影◎坂本 貴啓 4月  
福岡県うきは市  
筑後川大石用水



## 静かに春を告げる

集落の川沿いに一本だけある桜の木。静かに春を告げています。ここでバスを待つ人には確実に春の訪れが伝わるでしょう。

撮影◎坂本 貴啓 4月  
福岡県直方市 福智川



## ♪春の小川はさらさらゆくよ～

導流堤の上を流れるその名も『春の小川』。水面を桜の花びらがひらひら、チューリップフェア期間中には多くの人々が訪れます。童謡の春の小川が歌えそうな風景です。

撮影◎坂本 貴啓 4月 福岡県直方市  
春の小川（遠賀川と彦山川の合流点）



## おわりに

JRRN 事務局が水辺の美しさや人々との関わりについて考える切掛けづくりを目指して始めた『桜のある水辺』の風景写真の募集は、今年で 3 回目となります。

回をおう毎に応募いただく写真の数は増え、この度は、17 名の方より 43 点もの素敵なお写真をご提供頂きました。

今年も皆様よりご応募いただいた素敵な桜のある水辺風景写真を通じ、水辺の魅力や日本の素晴らしさを再発見することができました。

惜しむらくは、過去3回で四国地方の写真の応募がないことです。次回桜のある水辺風景写真の募集の際には、四国からの春のお便りをお待ちしております。

## 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川再生に関わる事例・経験・活動・人材等の交換・共有を通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に 2006 年 11 月に設立されました。また、日中韓を中心に活動する「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時にアジアの素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

URL : <http://www.a-rr.net/jp/>

### ○応募作品のお取扱いについて:

今後、ご応募頂きました写真を、JRRNが発行する「手引き」等の冊子やJRRNホームページ等で使用する場合は、使用目的や掲載媒体について予め応募者にご連絡をさせて頂き、撮影者了承の上で使用させて頂きます。

## 桜のある水辺風景 2012 応募写真集

発行日 2012 年 6 月 22 日

発行 日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）  
事務局（連絡先）

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 新川中央ビル 7 階

公益財団法人リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3862

Fax: 03-3523-0640

E-mail: [info@a-rr.net](mailto:info@a-rr.net),

URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

JRRN は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。



日本河川・流域再生ネットワーク

---